


地域情報化アドバイザー プロフィール

ふりがな	さかした さとし	
氏名	坂下 知司	
所属・役職	東京 IT 経営研究所 代表 IT コーディネータ実務研究会会員(創設者) 町田市役所 元情報政策アドバイザー(非常勤) 町田市役所 元情報システム担当部長(CIO 補佐官)	
動拠点	主として首都圏。九州、中国、中部、北海道でも活動	
略歴	2019～ 総務省 地域情報化アドバイザー 2014-2018 町田市役所 情報政策アドバイザー 2015-2017 (株)インターネットインシヤティブ (IIJ)自治体クラウド 推進部 顧問 2012 LASDEC 全国市町村情報システム会議 委員 2009-2014 町田市役所 情報システム担当部長(CIO 補佐官) 2008-2009 中小企業庁 中小企業 IT 革新支援事業 審査委員・成果評価委員 2005-2008 IT コーディネータ協会 ITC プロモーション制定ワーキンググループ 等委員 2002～ 経産省 IT コーディネータ 2001-2008 セキュリティ&ナレッジサポートサービス(株)(データセンタ) 代表取締役 仮想化サーバを商品化 1996-1998 米国 IGS 社(電話業界向けコンサルタント会社) 社外取締役 1981-2000 日立ソフトウェアエンジニアリングアメリカ(株) 顧客サービス技師を経て代表取締役 1969-2001 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) プログラマ・SE・海外技術支援などに勤務	
情報化分野の 専門分野・技術	【著作】 2014 月刊 LASDEC 特別表彰 町田市 「情報システム刷新：これまでの取組みの結果とこれから」 2014 月刊 LASDEC 「番号制度：全自治体での一斉稼働への現実解」 2014 月刊 地方自治研修 「番号制度導入と自治体の課題」 2012 月刊 LASDEC 「情報連携実現に向けた情報システムの標準化を急げ！ ～自己流“事務の機械化”にかまけている場合ではない～」 2012 APPLIC Future 春号 「情報システムの標準化と経費削減の同時実現」 2011 月刊 LASDEC 「庁内・庁外クラウドの併用による、停電対応、ディザスタ対策」 2010 月刊 LASDEC 「クラウド、全体最適化、IT コスト削減」 2008 IT コーディネータ協会 提言：「使える」ITに関する情報交換の場の提供 2006 IT コーディネータ協会 中国上海に見るソフトウェア産業発展の構図 2001 日経コンピュータ 米国の開発スピードを採るか日本の品質か 1999 日経コンピュータ 米国ユーザの虚像と実像 1998 US Frontline News (New York), 情報処理部門 日米の差	

<p>自治体向け メッセージ</p>	<p>番号法の施行で、電子行政やデジタルガバメントと謳われてきた紙書類のデジタル化や手続きの簡素化が一部で実稼働。ただ、今は住民にマイナンバーを書類に転記させ、行政や金融機関ではデジタルとアナログの両方で処理する場面も。一方で、確たる根拠もなく自己流の手順を踏襲し、データ形式や手続きの標準化に後向きな自治体も多い。</p> <p>早晚、国も複数の行政機関や民間企業が夫々保有するデジタルデータをセキュリティに配慮しながら繋げ、手続きの抜本的な簡素化を図ると思えます。が、移行に際して自己流のデータや手順を放置してきた自治体にまで救済処置をするとは考えられません。IoT、AI やオープンデータでも本稼働には関連する近隣自治体のデータ形式や手順の一致が不可欠です。</p> <p>人口規模が小さいほど標準化や全体最適化は行い易く、クラウド上の業務システムの共同利用も実稼働しています。中・大規模自治体なら焦点は業務システム間のデータ標準化です。</p> <p>業務手順やデータの標準化、全体最適化、共有化を進める支援ができれば幸いです。</p>
<p>関連 URL</p>	<p>月刊 J-LIS, 月刊 LASDEC のバックナンバー  <a href="https://www.j-lis.go.jp/spd/magazine/magazine_BN/cms_10032126.html">https://www.j-lis.go.jp/spd/magazine/magazine_BN/cms_10032126.html</a></p>
<p>地域情報化 に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>【町田市職員として】</p> <p>39 年強の民間情報システム会社での多様な経験(うち 19 年余は米国勤務)を買われ、2009 年、町田市 情報システム担当部長に着任。</p> <p>直後から次の具体策を、全取引先・市民(町田市 HP に開示)・庁内組織・他自治体(主に月刊 LASDEC)に公言し、RFI/RFP を使った健全な競争を通し、推進・実行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 仮想化技術に基づく全物理サーバ統合(後にクラウドと呼ばれる技法)</li> <li>b) 庁内システムのデータ形式を <b>APPLIC</b> が定めた 地域情報プラットフォーム(地ほう)に準拠</li> <li>c) 職員が手元にデータ持たない仕組みへの移行(シクライアント化)</li> <li>d) 稼働している全既存システムの総コスト半減(庁舎移転完了の翌 2013 年度)</li> </ul> <p>2013 年度末には所期の目標を達成。この間、各業務システムの更改時に仮想化、地ほう準拠、シク活用推進のため職員が自ら考え、討議する事で、情報リソースも向上しました。</p> <p>【標準化・全体最適化のベストプラクティス紹介者として】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2010-2014 APPLIC 主催 CIO 育成研修講師 平均受講者 約 40 名 x 10 講座</li> <li>・ 2013-2014 LASDEC 主催 調達管理セミナー講師 平均受講者 約 50 名 x 4 講座</li> <li>・ 2009-2014 町田市 庁外向け講演/視察受入れ 150 市区町村超</li> </ul> <p>反省点：町田市自身の取組みを完成させることを優先したため、他自治体との”共同利用の推進”という視点が後回しになり、自治体クラウドの共同利用は未だ実現してません。ただし、町田市が上に掲げた手法は個別に広く採用されています。</p> <p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>【地域の IT 活用支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟県越後湯沢温泉旅館協同組合：ネット予約システム(商用品)の共同利用<sup>(*)</sup></li> <li>・ 北海道倶知安町；外国人観光客を積極勧誘する IT を使った街づくり</li> <li>・ 熊本県山鹿農業協同組合：生産者の顔が見えるスィカ作り～QR コードで消費者と直結<sup>(*)</sup></li> <li>・ 民間企業：イザカ IFC(株)、クラブスポーツ(株)など中小企業の IT 経営支援</li> </ul> <p>注) *印の取組みは夫々、経産省から IT 経営大賞を受賞しました。</p>